

## 文化遺産総合活用推進事業 実施報告

1 都道府県・市区町村名	奈良県・斑鳩町	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	斑鳩（法隆寺とその周辺地域）活性化プラン		
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度 5年以内としてください。		
5 過去の補助事業実績			
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業			千円
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業			千円
平成29年度文化遺産総合活用推進事業			千円
平成30年度文化遺産総合活用推進事業		7892	千円
6 計画の実施状況（概要） ※平成30年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>1. 情報発信事業</p> <p>(1) 外国人用観光ホームページの作成 わが国で最初に世界文化遺産登録を受けた法隆寺をはじめ、斑鳩町が有する歴史的資源を、外国人観光客に向けて情報発信するため、外国人用観光ホームページ（英語版）を作成した。 ホームページには、斑鳩町が有する法隆寺をはじめとする歴史的資源の情報はもちろんのこと、お土産物や、宿泊施設、飲食店などの情報を掲載し、また、同年度に作成した巻物型パンフレット（英語版）、まちあるきMAP（英語版）をPDFで掲載している。</p> <p>(2) 巻物型パンフレット（多言語）の制作 親しみやすいイラストと内容で、世界文化遺産・法隆寺の価値を周知し、国内外の幅広い観光客にその魅力を伝えるため、大阪芸術大学が考案したデザイン案をもとに、「巻物型パンフレット」を作成した。平成30年度は、日本語版と英語版を作成。 【制作部数】 日本語版：500部、英語版：500部</p> <p>(3) 首都圏での斑鳩セミナー 「法隆寺地域の仏教建造物」の世界文化遺産登録25周年を記念し、聖徳太子の聖地・斑鳩の魅力伝えるため、東京都でセミナーを5回開催した。町考古学技師や有識者などの講師により、斑鳩の知る人ぞ知る魅力を、易しく紹介した。 【第1回目】 日 時：平成30年8月18日（土）13：30～15：00 場 所：日比谷図書文化館 講 師：法輪寺住職 井ノ上妙康師 斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課 参事 平田政彦氏 テーマ：斑鳩三塔～法隆寺・法起寺・法輪寺 参加者：157名</p> <p>【第2回目】 日 時：平成30年10月20日（土）13：30～15：00 場 所：朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾新宿教室 講 師：法隆寺管長 大野玄妙師 斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課 参事 平田政彦氏 テーマ：聖徳太子と法隆寺 参加者：151名</p> <p>【第3回目】 日 時：平成30年11月17日（土）13：30～15：00 場 所：日比谷図書文化館 講 師：浄念寺住職 横田丈実師 斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課 参事 平田政彦氏 テーマ：映画監督が見た世界遺産地区「斑鳩」の風景 参加者：60名</p>			

#### 【第4回目】

日時：平成31年1月19日（土）13：30～15：00  
場所：日比谷図書文化館  
講師：デザイナー 坪岡徹氏  
斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課 参事 平田政彦氏  
テーマ：瓦が語る法隆寺の歴史  
参加者：38名

#### 【第5回目】

日時：平成31年2月16日（土）13：30～15：00  
場所：日本橋社会教育会館  
講師：鶴工舎宮大工棟梁 小川三夫氏  
斑鳩町教育委員会事務局生涯学習課 参事 平田政彦氏  
テーマ：木の命、木の心～技を伝え、人を育てる～  
参加者：108名

#### （4）多言語まちあるきMAPの制作

既存の「奈良・斑鳩里めぐりMAP」について、斑鳩町観光事業・資源をインバウンド（訪日外国人観光客）向けの内容に改定し、幅広い観光客誘致を目的として制作した。平成30年度は、英語版を作成。

#### 【制作部数】

英語版：500部

#### （5）聖徳太子えほんの制作

世界文化遺産「法隆寺地域の仏教建造物」をはじめ、聖徳太子ゆかりの地を、絵・写真・地図でわかりやすく観光客に案内できるように、「聖徳太子えほん」と題した新しい観光ガイドブックを制作。平成30年度は、大阪芸術大学とのコラボでデザイン及び挿絵（イラスト）の作成を行った。

### 7 定量的な目標に対する計画の進捗状況

※平成30年度までの進捗状況について、実施計画で設定した指標に基づき、状況値と目標に対する達成率を記載してください。（指標・目標値を複数設定している場合は、全て記載）。

別紙①②のとおり

### 8 事業実施による効果等

※平成30年度までの計画の実施により得られた効果や実施後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。

#### 1. 情報発信事業

##### （1）外国人用観光ホームページの作成

英語版のホームページを平成31年2月28日に公開したこともあり、平成31年4月4日現在で、アクセス数は80PVとなっている。現在、町内の歴史的資源のほかに、お土産物や、宿泊施設、飲食店などの観光情報を掲載し、また、巻物型パンフレット英語版とまちあるきMAP英語版を掲載しているが、平成34年度までに10,000PVを目標としていることから、さらなる情報発信の強化をはかるために、平成31年度以降は、英語以外の言語での巻物型パンフレットとまちあるきMAPの制作を予定している。

#### <定量的な効果>

##### ①成果指数及び目標値

- ・成果指数：外国人用観光ホームページ閲覧数（PV数）
- ・目標値：平成29年度 0 PV → 平成34年度 10,000 PV

##### ②実績値

80 PV

##### ③達成率

0.8%

##### （2）巻物型パンフレット（多言語）の制作

平成30年度には、日本語版500部・英語版500部を作成した。さらに、2000部増刷し、法隆寺や町内の観光案内所などに配布・設置している。今回は英語版の2000部増刷となったが、平成31年度以降予定している、日本語・英語以外の言語での巻物型パンフレットを作成し、幅広い層のインバウンドが観光しやすい環境づくりに努めたい。

#### <定量的な効果>

##### ①成果指数及び目標値

- ・成果指数：パンフレットの増刷数
- ・目標値：平成29年度 0 部 → 平成33年度 10,000 部

##### ②実績値

増刷：2000部（英語版のみ）

##### ③達成率

## (3) 首都圏での斑鳩セミナー

5回連続の講座を開催し、考古学からの視点による斑鳩の紹介だけでなく、映画監督やデザイナーなど、新しい目線での斑鳩を紹介できた。また、セミナー当日の様子を動画で配信した。現在、セミナーの開催記録は斑鳩町のHPに掲載しており、平成31年4月4日時点でのアクセス数は1,084PVであるが、平成31年度には、平成30年度に作成した外国人用観光ホームページへ、日本語以外の12か国語に翻訳した開催記録を掲載し、外国人用観光ホームページでのセミナー内容の閲覧数1,000PVを達成したい。

## &lt;定量的な効果&gt;

## ①成果指数及び目標値

- ・成果指数：セミナー内容のホームページ閲覧数 (PV数)
- ・目標値：平成29年度 0 PV → 平成33年度 1,000 PV

## ②実績値

1,084 PV

## ③達成率

108.4%

## (4) 多言語まちあるきMAPの制作

平成30年度には、英語版500部を作成した。さらに、5000部増刷し、法隆寺や町内の観光案内所などに配布・設置している。今回は英語版の5000部増刷となったが、平成31年度以降予定している、英語以外の言語でのまちあるきMAPを作成し、幅広い層のインバウンドが観光しやすい環境づくりに努めたい。

## &lt;定量的な効果&gt;

## ①成果指数及び目標値

- ・成果指数：パンフレットの増刷数
- ・目標値：平成29年度 0 部 → 平成34年度 10,000 部

## ②実績値

増刷：5000部 (英語版のみ)

## ③達成率

50%

## (5) 聖徳太子えほんの制作

平成30年度には、大阪芸術大学とのコラボでデザイン及び挿絵 (イラスト) の作成、えほん本文の英語翻訳のみを行ったため、得られた効果については、評価が難しい。しかしながら、平成31年度に日本語版と英語版の発行を予定していることから、町内の観光案内所等へ設置したいと考えている。

## &lt;定量的な効果&gt;

## ①成果指数及び目標値

- ・成果指数：ガイドブックの増刷数
- ・目標値：平成29年度 0 部 → 平成33年度 5,000 部

## ②実績値

増刷：0部

## ③達成率

0%

## 9 得られた効果の検証・分析

外国人用観光ホームページの開設やパンフレット等を作成したことで、外国人観光客をおもてなしできる環境づくりを急速に整備できた。また、外国人観光客を観光案内する際も、より分かりやすく、丁寧な対応ができた。また、首都圏での斑鳩セミナーを開催したことで、考古学から見た斑鳩の魅力として、新たな角度からのPRができた。アンケート結果に「斑鳩を訪れてみたくなった」といった旨の回答が多数得られたことから、今後、当地を訪ねていただく直接のきっかけづくりとなる事業を通じた文化財建造物に関する普及啓発や、タビマエにアプローチする情報発信を行い、文化振興・地域活性化に繋げていく。

## 10 総括評価結果

※実施計画期間終了の翌年度における総括評価の結果を定量的・定性的な側面から具体的に記載してください。

7 定量的な目標に対する計画の進捗状況 別紙

具体的な指標 1 :	斑鳩への観光客数				関連事業:	①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥	
目標値 1 :	平成 29 年度	1,100,000 人		⇒	平成 34 年度	1,500,000 人	
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率						
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度		
984,097 人	人	人	人	人	人	人	
-29%							



事業④： 欧米観光見本市等への出展		実施団体： 「世界文化遺産」地域連携会議・斑鳩プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 32 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	関西観光本部が各国に出展・運営する「関西ブース」内に、斑鳩（法隆寺）特出しコーナーを設置。パンフレットやHPの完成にあわせて平成32年度より、順次年間数か国ずつ出展するイメージ				
具体的な指標：	斑鳩への外国人観光客増加数				
目標値：	平成 29 年度 0 人 ⇒ 平成 34 年度 3,000 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
0 人	人	人	人	人	人
0%					
事業⑤： 多言語まちあるきMAPの制作		実施団体： 「世界文化遺産」地域連携会議・斑鳩プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 34 年度		
事業概要：	多言語版の「奈良・斑鳩 里めぐりMAP」を作成する（H30英語・H31仏語・H32中簡体語・H33韓国語・H34中繁体語）				
具体的な指標：	パンフレットの増刷数				
目標値：	平成 29 年度 0 部 ⇒ 平成 34 年度 10,000 部				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
5,000 部	部	部	部	部	部
50%					
事業⑥： 聖徳太子えほん（ガイドブック）の製作		実施団体： 「世界文化遺産」地域連携会議・斑鳩プロジェクトチーム			
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 32 年度		
事業概要：	世界遺産である法隆寺・法起寺をはじめ、聖徳太子ゆかりの地を絵・写真・地図で案内する新規ガイドブックを大阪芸術大学とのコラボで製作する。 デザイン作成（挿絵・デザイン・文章など）（H30） 日本語版印刷・配布（H31）、英語版印刷・配布（H32）				
具体的な指標：	ガイドブックの増刷数				
目標値：	平成 29 年度 0 部 ⇒ 平成 33 年度 5,000 部				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
0 部	部	部	部	部	部
0%					